

# 2020年3月期 第1四半期決算説明会

---

2019年8月6日



株式会社 ジーエス・ユアサ コーポレーション

## 2020年3月期 第1四半期決算状況

1. 概要	4
2. 売上高・利益	5
3. セグメント別業績	7
・自動車電池（国内）	10
・自動車電池（海外）	11
・産業電池電源	12
・車載用リチウムイオン電池	13
・その他	14
4. 貸借対照表	15
5. トピックス	16

# 2020年3月期 第1四半期決算状況

# 1. 概要

---

- 世界経済は、米国は堅調に推移しましたが、中国は米国との通商問題などを背景に景気は減速傾向、欧州はBrexitをめぐる先行き不透明な状況が継続
- わが国経済は、緩やかな回復基調が継続したものの、世界経済の減速懸念から景気の先行きは不透明な状況
- 売上高は、主として自動車電池事業における海外の販売減少による影響などにより減少
- 営業利益および経常利益は、上記売上高の影響により減少
- 親会社株主に帰属する四半期純利益は、税金費用が減少したことなどにより増加

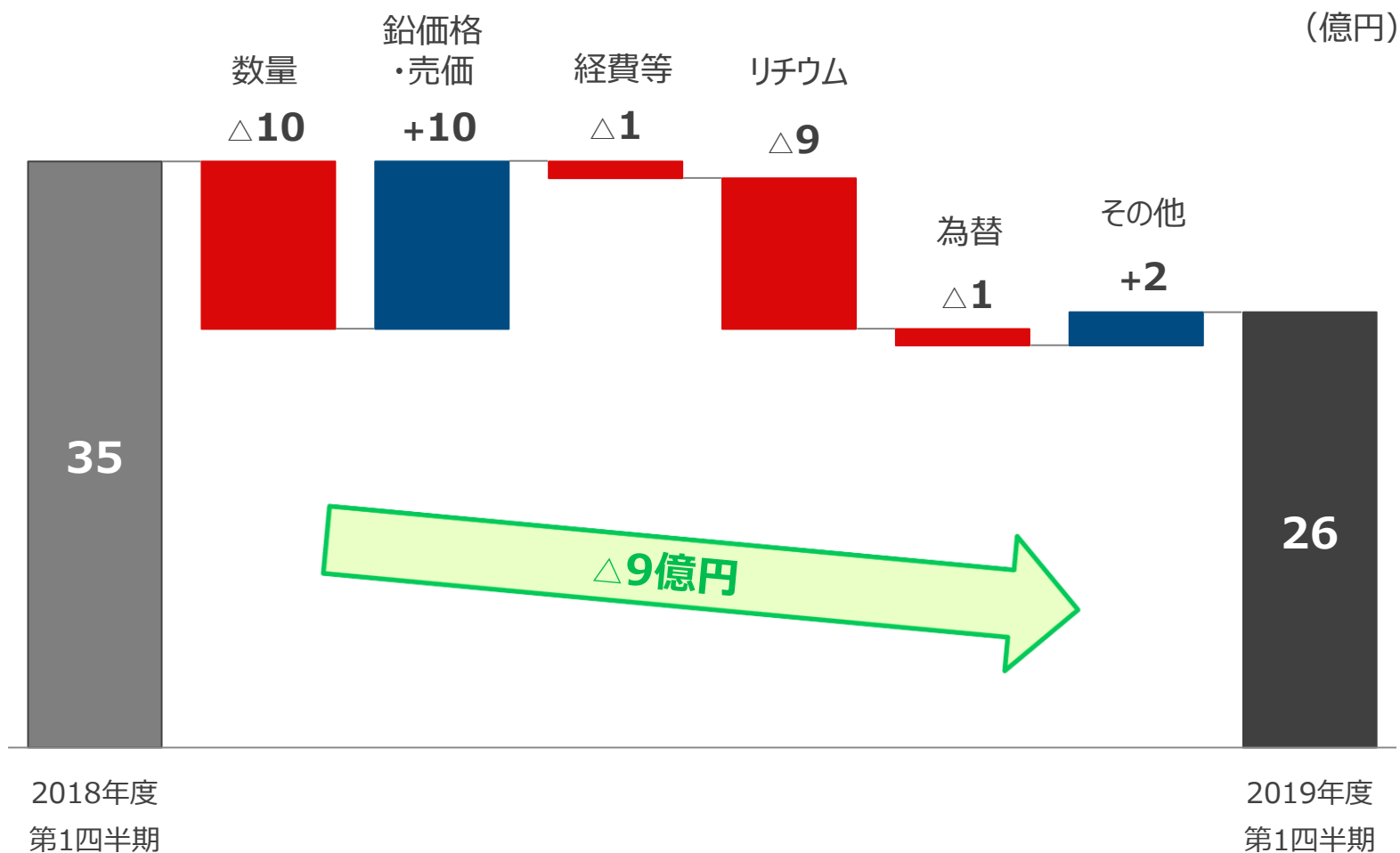
## 2. 売上高・利益

(億円)

	2018 年度 第1四半期	2019 年度 第1四半期	増減	(前期比)
売上高	963	901	△62	(△6.4%)
営業利益 (営業利益率)	29 3.0%	20 2.3%	△9 △0.7P	(△30.1%)
のれん等償却前営業利益 (のれん等償却前営業利益率)	35 3.6%	26 2.9%	△9 △0.7P	
経常利益	32	29	△3	(△9.2%)
特別利益	2	0	△2	
特別損失	2	1	△1	
税前四半期純利益	32	28	△4	
法人税等	10	8	△2	
非支配株主に帰属する四半期純利益	8	6	△2	
親会社株主に帰属する四半期純利益 (四半期純利益率)	14 1.5%	15 1.6%	+1 +0.1P	(+3.0%)
のれん等償却前 親会社株主に帰属する四半期純利益 (のれん等償却前四半期純利益率)	20 2.1%	20 2.3%	+0 +0.2P	
国内鉛建値 (万円/t)	32.27	27.25	△5.02	
L M E (US\$/t)	2,387	1,886	△501	
為替 (円/US\$)	109.53	109.67	+0.14	

## 2. 売上高・利益

### 営業利益増減要因（前年比較）



(注) 営業利益はのれん等償却前営業利益です。

### 3. セグメント別業績

(億円)

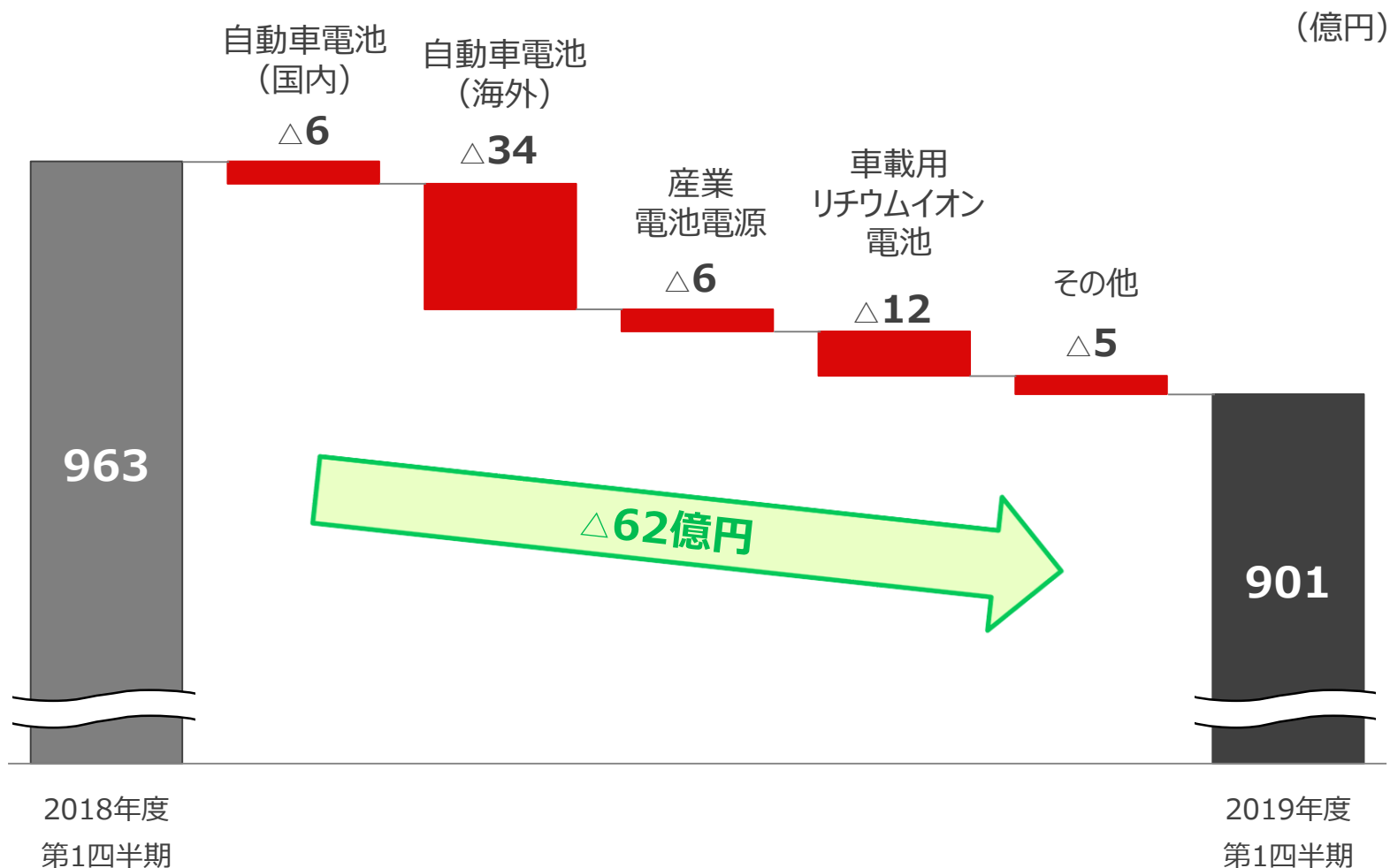
		2018年度 第1四半期		2019年度 第1四半期		増減	
		売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:P)
自動車電池	国内	197	9 (4.5)	191	6 (3.1)	△6	△3 (△1.4)
	海外	443	27 (6.1)	409	27 (6.6)	△34	△0 (+0.5)
産業電池電源		162	△3 (△1.8)	156	△2 (△1.0)	△6	+1 (+0.8)
車載用リチウムイオン電池		115	1 (1.0)	103	△8 (△7.8)	△12	△9 (△8.8)
その他		47	0 (0.6)	42	3 (6.0)	△5	+3 (+5.4)
合計		963	35 (3.6)	901	26 (2.9)	△62	△9 (△0.7)

(注1) 営業利益はのれん等償却前営業利益、営業利益率はのれん等償却前営業利益率です。

(注2) 2019年度より、従来「自動車電池海外」に含まれていた一部の子会社等について、「産業電池電源」にセグメントを変更しております。2018年度は、変更後の業績を記載しております。

### 3. セグメント別業績

#### セグメント別 売上高増減 (前年比較)

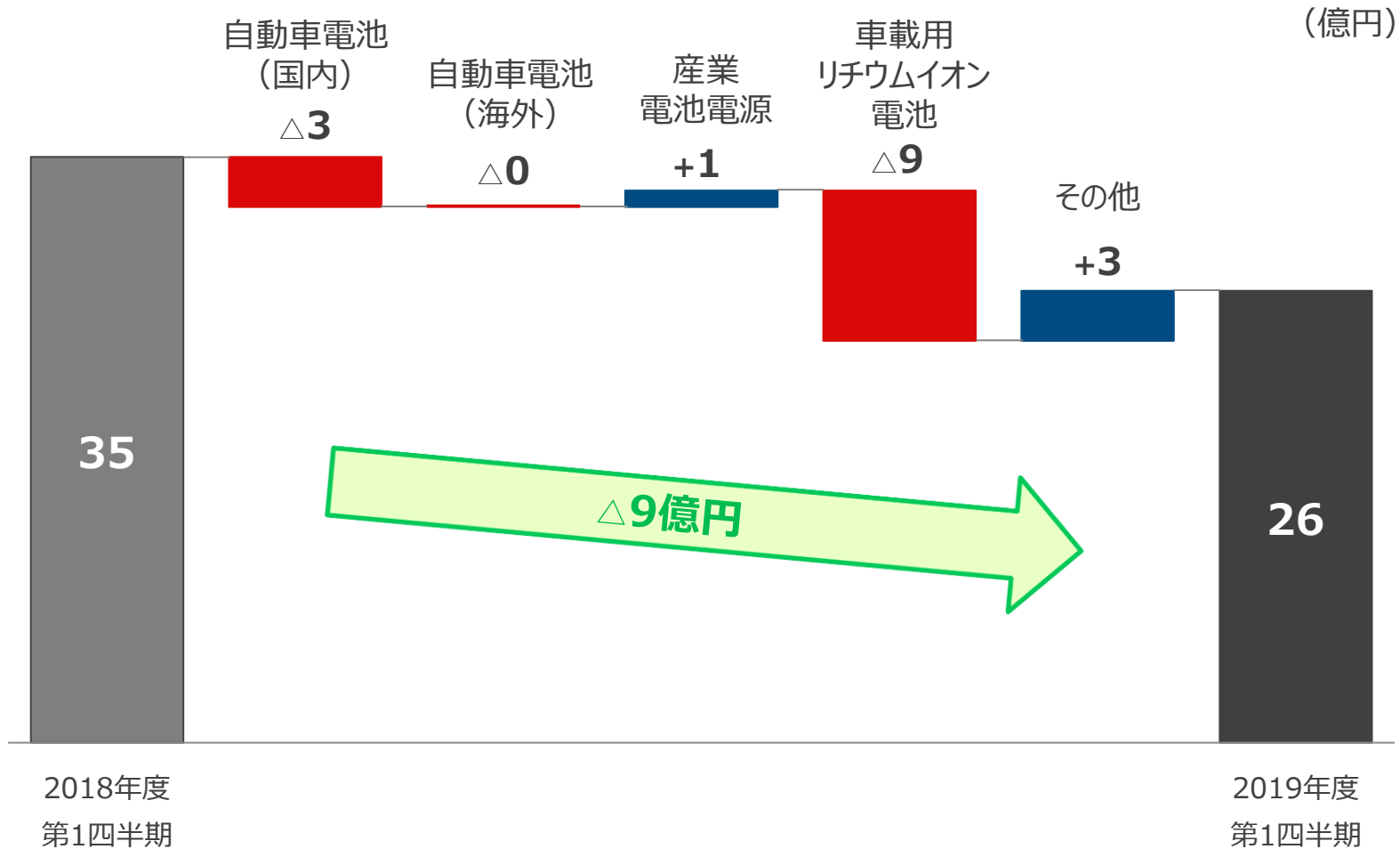


(注) 2019年度より、従来「自動車電池海外」に含まれていた一部の子会社等について、「産業電池電源」にセグメントを変更しております。売上高増減は、変更後の業績の比較を記載しております。



### 3. セグメント別業績

#### セグメント別 営業利益増減 (前年比較)



(注1) 営業利益はのれん等償却前営業利益です。

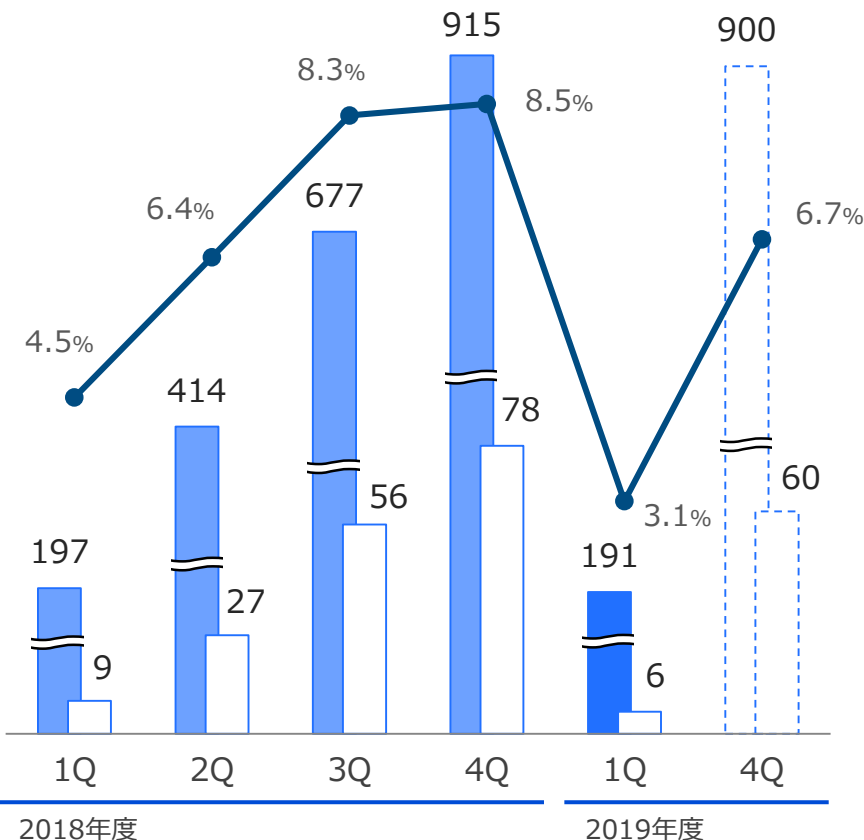
(注2) 2019年度より、従来「自動車電池海外」に含まれていた一部の子会社等について、「産業電池電源」にセグメントを変更しております。営業利益増減は、変更後の業績の比較を記載しております。

# 3. セグメント別業績

## 自動車電池（国内）

売上高・営業利益・利益率

(億円)



2019年度 第1四半期商況

- 新車向けはEN（欧州統一規格）電池を中心に販売増加
- 補修向けはISS（アイドリングストップ）車用電池は販売増加したものの、補修向け全体では減少
- 鉛価格下落に伴う販売価格低下の影響

増減益要因

数量	△4
鉛価格・売価	+3
合理化・経費等	△2

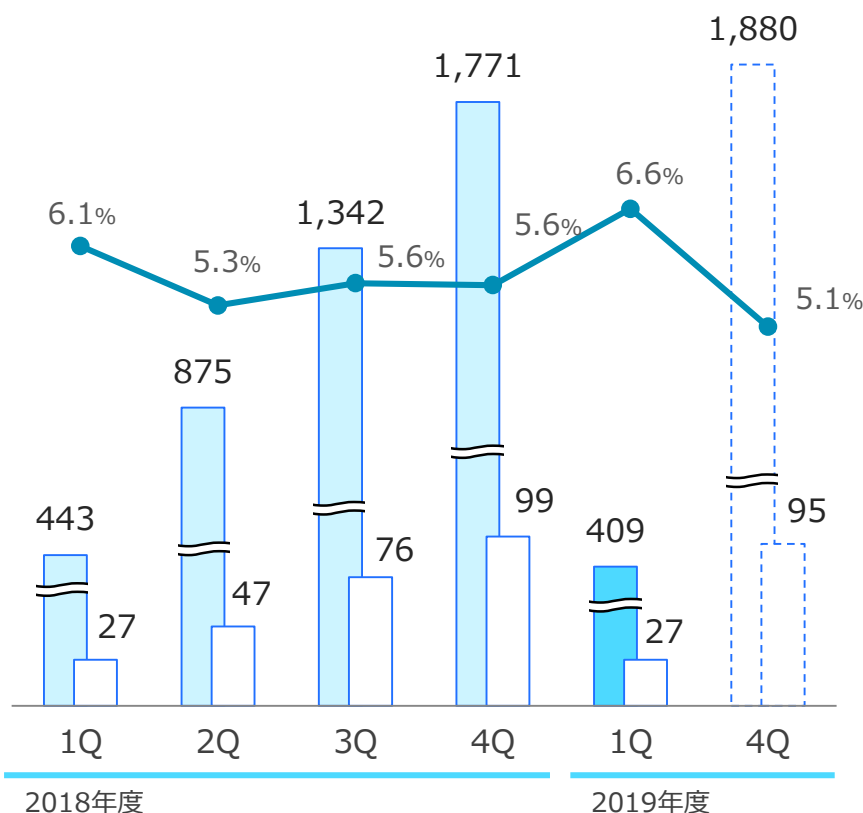
(注) 営業利益はのれん等償却前営業利益、営業利益率はのれん償却前営業利益率です。

# 3. セグメント別業績

## 自動車電池（海外）

売上高・営業利益・利益率

(億円)



2019年度 第1四半期商況

- 自動車用鉛蓄電池は主として中国で市況の悪化により販売減少
- オートバイ用鉛蓄電池は東南アジアを除いて販売減少
- 円高による為替換算の影響

増減益要因

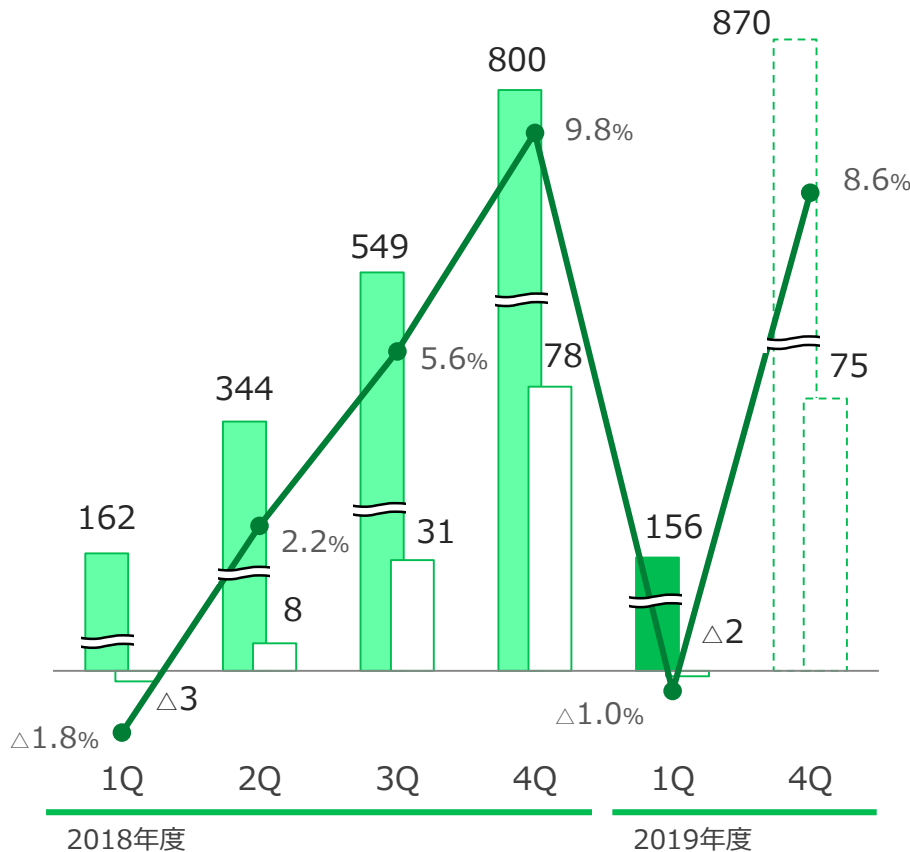
数量	△8
鉛価格・売価	+5
合理化・経費等	+3
為替	△1

(注) 2019年度より、従来「自動車電池海外」に含まれていた一部の子会社等について、「産業電池電源」にセグメントを変更しております。2018年度は、変更後の業績を記載しております。

# 3. セグメント別業績

## 産業電池電源

売上高・営業利益・利益率



(億円)

2019年度 第1四半期商況

- 産業用リチウムイオン電池の販売が好調に推移
- 照明機器の販売減少
- 特機事業を譲渡した影響

増減益要因

数量	+1
鉛価格・売価	+1
合理化・経費等	△1

(注) 2019年度より、従来「自動車電池海外」に含まれていた一部の子会社等について、「産業電池電源」にセグメントを変更しております。2018年度は、変更後の業績を記載しております。

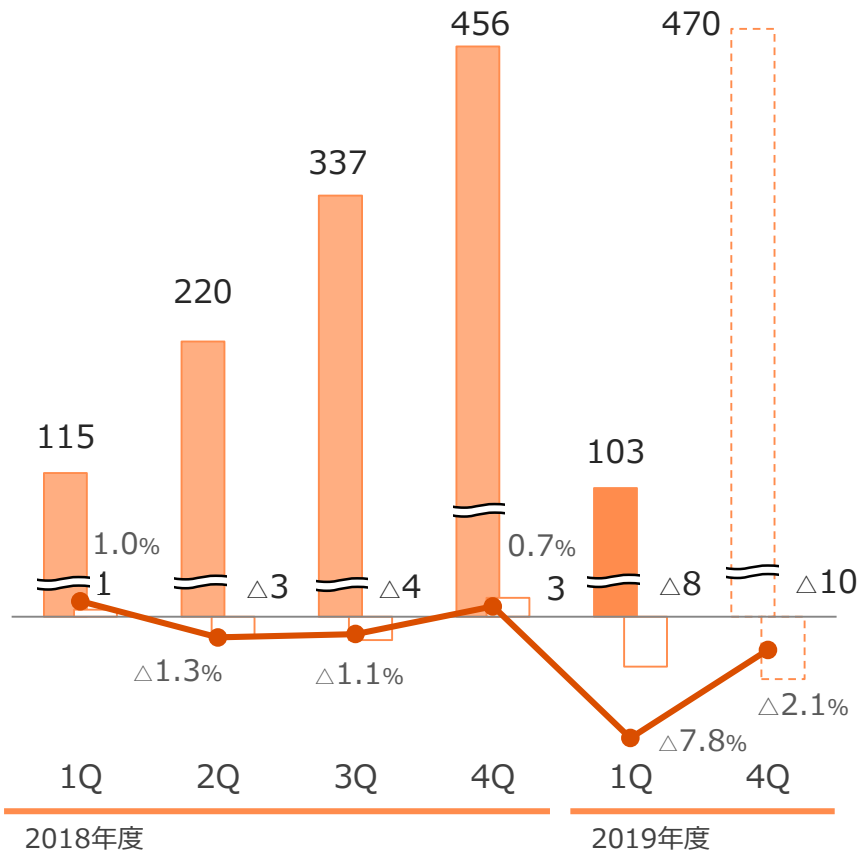
# 3. セグメント別業績

## 車載用リチウムイオン電池

売上高・営業利益・利益率

(億円)

2019年度 第1四半期商況



- [リチウムエナジー ジャパン]  
プラグインハイブリッド車用リチウムイオン電池の販売減少
- [ブルーエナジー]  
ハイブリッド車用リチウムイオン電池の販売増加

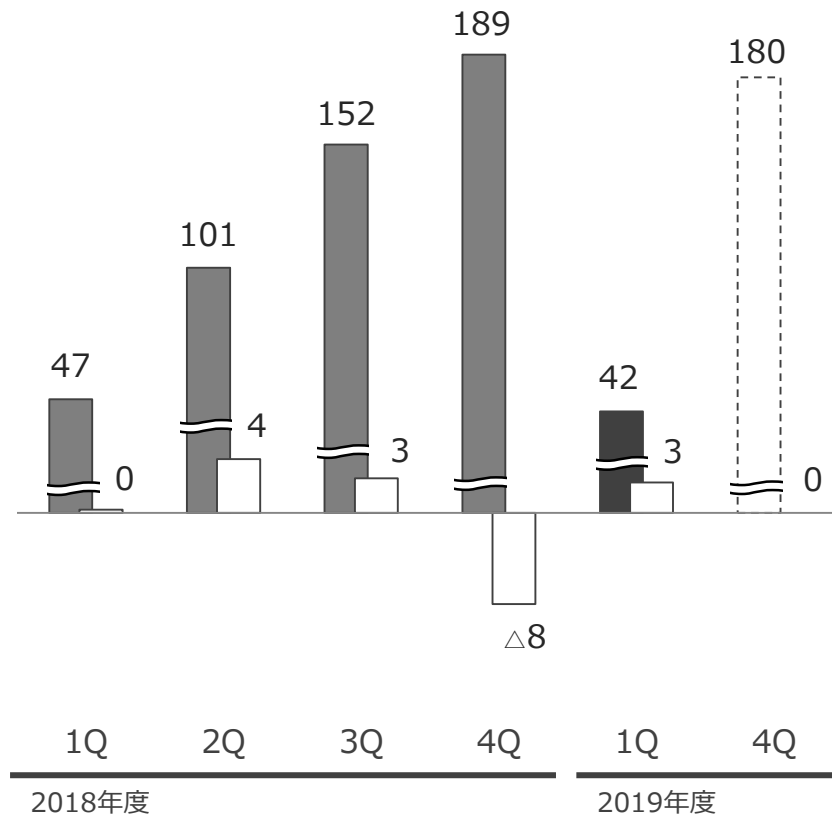
### 増減益要因

ハンガリー立ち上げ費用の増加

# 3. セグメント別業績

## その他

売上高・営業利益



(億円)

2019年度 第1四半期商況

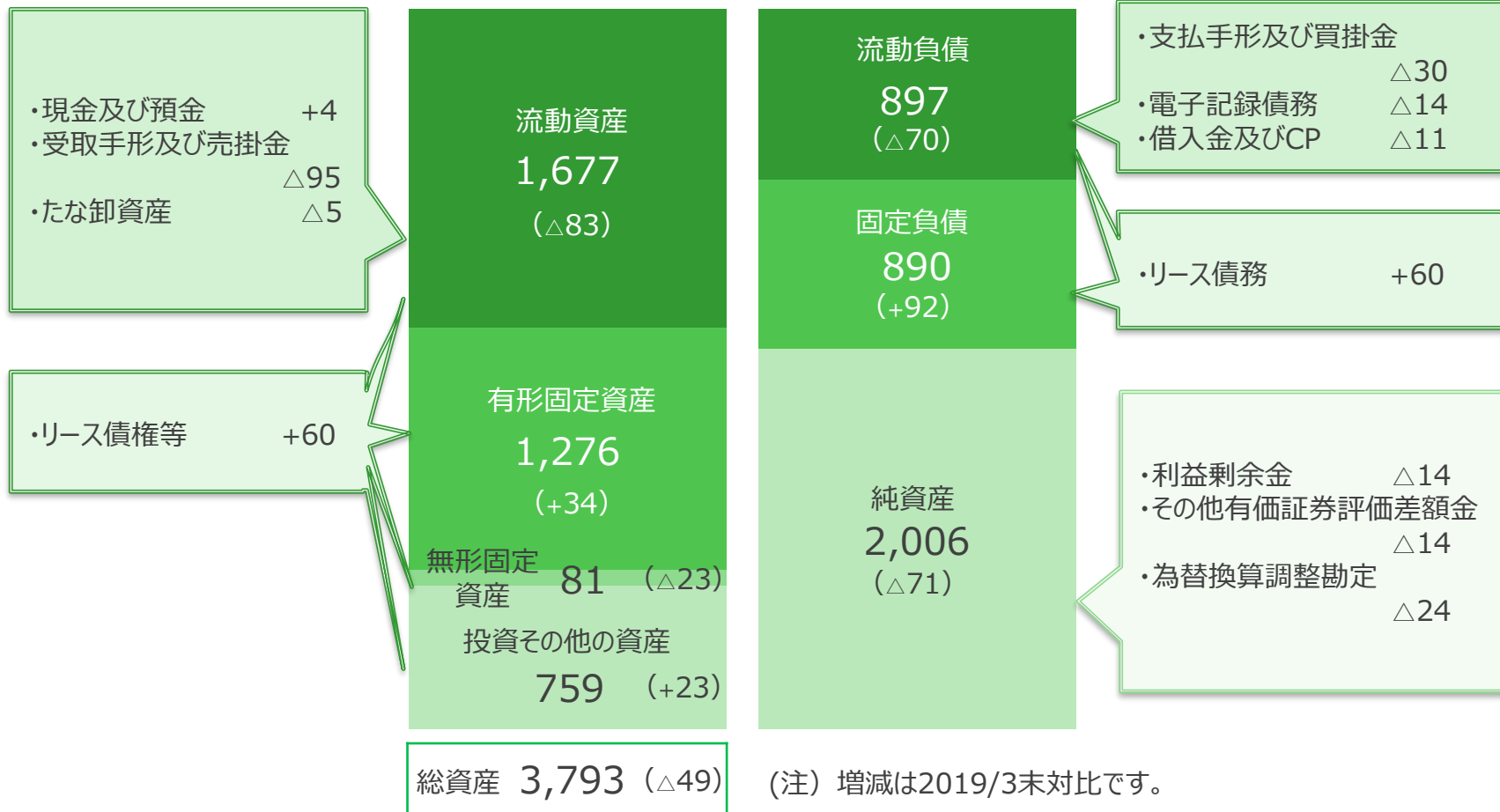
- 一部特殊用途向け電池の一時的な生産減少
- 航空機用リチウムイオン電池の販売増加

増減益要因

主として管理部門の経費の減少

# 4. 貸借対照表

(億円)



(注) 増減は2019/3末対比です。

	2019/3末	2019/6末
自己資本比率	46.4%	45.3%
有利子負債	669億円	650億円

## 蓄電池監視装置「DATAWINDOW-S」を販売



DATAWINDOW-S  
(センサユニット (手前) とコントロールユニット (奥) )

- 国内のインフラは整っておりバックアップ電池電源需要は頭打ち



### IoTを活用したコトづくりサービスを拡充

常時監視による蓄電池システムの健全性の確保、遠隔監視による迅速な保守対応と負担軽減が可能  
計測データ活用による、最適な更新計画の立案をサポート

## 国内初の完全バッテリー推進船「e-Oshima」に当社LiBが搭載



完全バッテリー推進船「e-Oshima」

- CO<sub>2</sub>削減など環境対応への要請
- 人口減少による労働人口の減少



大容量リチウムイオン電池のみを動力源として「ゼロエミッション」を達成  
航行用を含む全ての電源に電力を供給することで、船舶の省人化および安全性向上をもたらす  
自動運転技術に貢献



本資料は、当社グループの業績等についての一般的な情報提供を目的とするものです。本書に含まれる予測、予想、計画その他の将来情報は、当社において利用可能な情報に基づく現時点における当社の認識又は判断に基づくものであり、実際の結果はこれらの情報と大きく異なることがあります。また、当社は、本資料に記載された情報に変更又は更新があった場合にも、その内容を提供又は開示する義務を負うものではありません。



#### 連絡先

株式会社 ジーエス・ユアサ コーポレーション

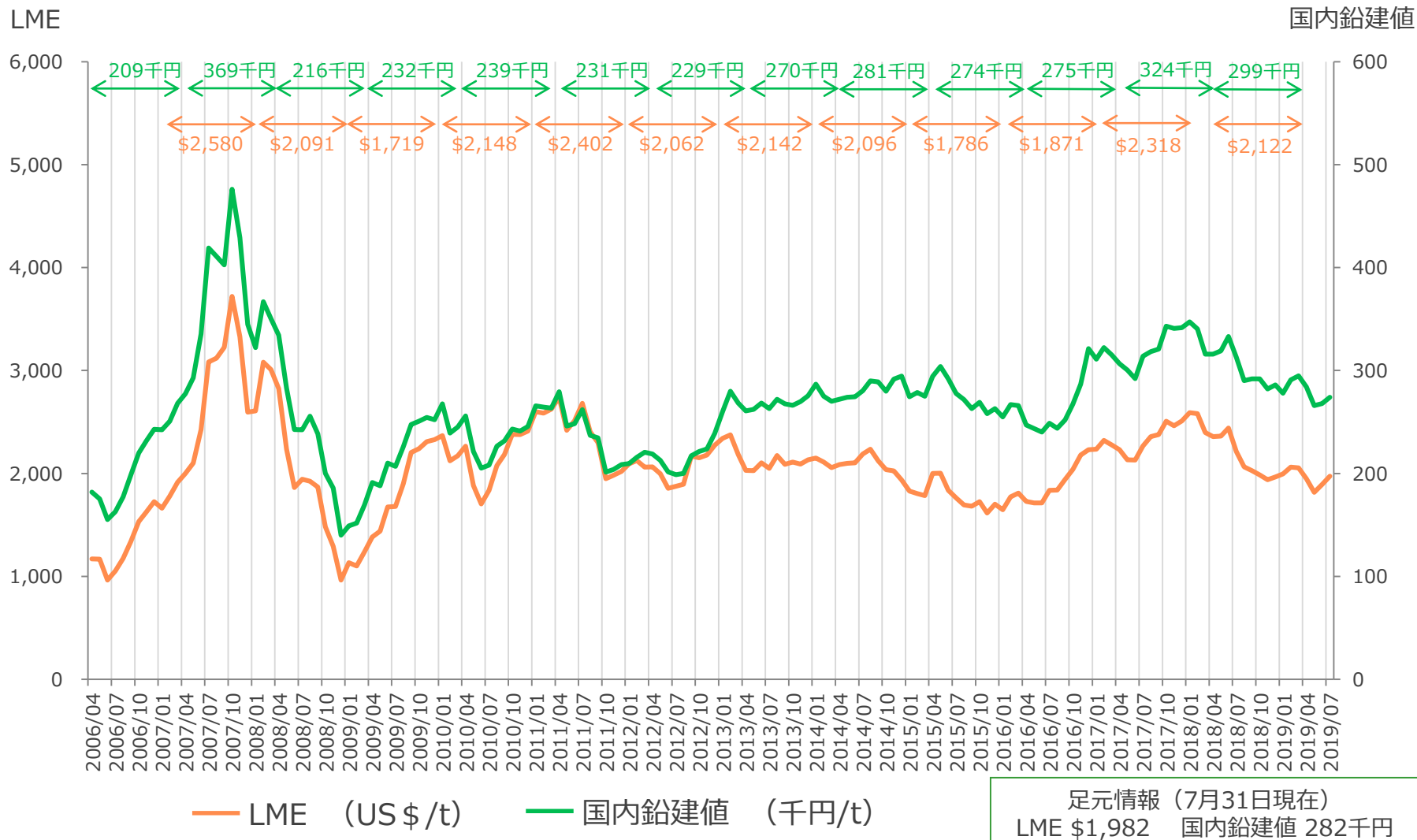
コーポレート室（広報） 青木 裕 ・ 柿島 辰年 ・ 田中 祥太

Tel : 075-312-1214

<https://www.gs-yuasa.com/jp>

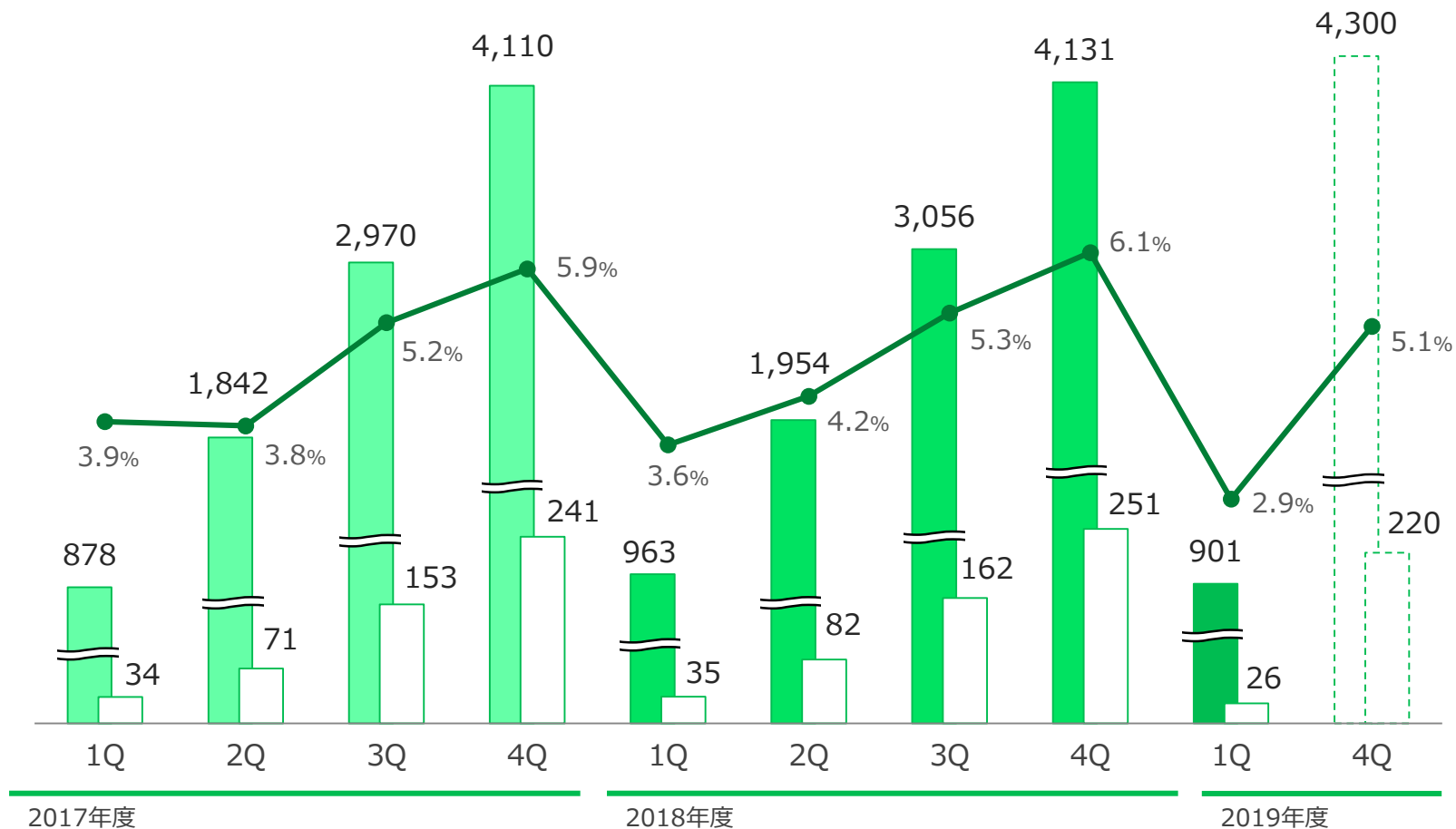
## 參考資料

## 原材料価格の推移



## 売上高・営業利益・利益率推移

(億円)



(注) 営業利益はのれん等償却前営業利益、営業利益率はのれん償却前営業利益率です。